

山形市医師会 在宅医療・介護連携室ポピー 令和6年度 事業計画と進捗状況

在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

事業項目（仕様書～）	計画	進捗状況
（１）地域の医療・介護サービス資源の把握 関係機関との連携により、地域の医療機関、介護事業者等の所在地、機能等を把握し、既存情報と合わせてリスト等を作成する。作成したリスト等は、地域の医療・介護関係者や住民に向けて、ホームページへの掲載等により広く公開を行う。	① 在宅医療サービス検索システム ・更新作業 山形市内全医療機関への発送、エール・上山市に調査協力依頼 ・医師会ホームページへの情報入力作業、PDF版の作成、 ② ポピーホームページの運営 ・新着やブログ更新、地域資源情報やリンクの集約点検作業 ・人生会議に関するコンテンツ追加（いっぽぐカードの紹介含む）の検討 ③ 当事者や介護者のための資源情報の把握 ・在宅療養者・介護者等、当事者が集う会やサロン等の情報把握	①在宅医療検索サービス検索システム ・R6年更新作業 現システム終了に伴い医師会HP医療機関検索と統合、システム完成 更新作業は東北厚生局のデータと照らし合わせて基礎データを確認済み PDFをHPへ掲載。 ② ポピーホームページの運営 ・ポピーインタビュー 山形市薬剤師会 佐伯和毅氏 掲載済み 山形県栄養士会 西村恵美子氏 3月取材 ③ 当事者や介護者のための資源情報の把握 ・在宅療養展示カフェに設置する各種チラシ・エンディングノート等の準備
（２）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 切れ目のない在宅医療・介護の提供体制に向けて、相談支援や地域ケア会議、地域の医療・ケアマネジャー等介護関係者が参画する会議等を通して、在宅医療・介護連携に関する現状の分析と課題の抽出並びに解決策等の検討を山形市と共に行う。	① 在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出 ・実数把握・各種データの把握 ・在宅医療連携推進の会、自立支援型地域ケア会議の傍聴、拡大運営会議や意見交換等の実施 ・研修会や住民講座のアンケート ・相談など ・ポピーインタビューや個別ヒアリングなど ポピーインタビュー更新（R5年度実績2回） ・個別ヒアリング： 各連絡会・他専門職団体・他機関などに出向き、連携の課題など聞き取り（連絡会） ② 対応策の検討 ・山形市・基幹型地域包括と現状分析や課題抽出を行い共有・対応策を検討する ・心肺蘇生を望まない患者への救急対応について現状についての意見交換	① 在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出 ・相談など がん末期患者の高齢者施設での救急時対応について（意思決定支援） ・ポピーインタビュー：（１）ー② 再掲 ・個別ヒアリング： 3月3日 山形市消防本部 高齢者の救急救命を取り巻く課題 ・傍聴：介護保険事業所連絡会プレミアム会議傍聴(7月・3月) ② 対応策の検討
（３）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 高齢者が入院から退院後の在宅生活まで、切れ目ない支援を受け、安心して生活が送れるようにするため、山形市や職能団体、医療政策を担う山形県や村山保健所と連携協力しながら、地域の医療・介護関係者の理解促進と研修等による顔の見える関係づくりを行う。また、「山形市入退院支援フロー（地域版）」および「村山地域入退院支援の手引き」を活用し、病院や医療連携室、地域の診療所等とより連携しやすい環境に向けた取組を行う。	① 拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場） ・地域課題に沿ったテーマで開催 ② 医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組 ・山形市版入退院支援フロー 活用状況の把握と課題点検、必要に応じた見直し、その他 コロナ禍での地域と病院の連携状況の把握 村山保健所主催「入退院調整ルール検討プロジェクト」再開に向けた地域や村山保健所との実態把握と情報交換 ・ケアマネと主治医・薬局のよりやり取りしやすい取組ワーキング 今後の展開（チラシ普及・活用・研修会実施等）への取り組み ・基幹型地域包括支援センターと協力し、病院の連携室の方々が集まる連絡会開催に向けた働きかけ ③ケアマネジャーと訪問看護の連携の構築 ・連携を構築するための接点をつくる。 ・意見交換を通して今後の企画を検討・実施	① 拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場） 「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」おれんじチームと合同で開催計画 →効果的開催に向けて次年度改めて協議、 ② 医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組 【山形市版入退院支援フロー】 診療報酬・介護報酬改定に合わせて解説更新・ポピーホームページや研修会などで周知 【病院の退院支援部署連絡会】 ・7月25日 第2回医療連携室連絡会「身寄りのない方の支援」事例検討 ・1月27日 第3回地域医療連携室連絡会 居宅・包括合同研修会「身寄りのない方の支援」140名 【ケアマネと主治医・薬局のよりやり取りしやすい取組ワーキング】 ・5月23日 薬剤師会と居宅・包括の合同研修会 (3)②参照 ③ケアマネジャーと訪問看護の連携の構築 ・6月18日 山形市訪問看護連絡会傍聴
（４）相談支援 地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター、住民等に対して、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談を受け付け、必要に応じ医療関係者・介護関係者等の連携調整や相談者の意向を踏まえた関係機関の紹介等を行う。また、相談窓口や在宅医療・介護連携室の役割について、地域住民、関係者等に周知するとともに、個々の相談事例から明らかになった在宅医療・介護の連携のポイント等をまとめた事例集を作成、活用し、関係者等のより一層の連携促進に向けた周知を行う。	① 相談窓口の開設 ・月～金 9:00～16:00（祝、12/29～1/3を除く） R5年度実績132件（3/15現在） ・地域の支援者・住民、他地域からの相談に対応 ② 窓口の周知 ・ポピーホームページ・チラシ・「医療と介護の連携ブック」配布・ ・研修会や住民講座等による窓口の周知 ③ 自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加	① 相談窓口の開設 相談件数 4月 16件 9月 9件 5月 13件 10月 12件 1月 15件 6月 15件 11月 14件 2月 11件 7月 12件 12月 13件 3月 7件 8月 11件 延べ相談件数 148件 ② 窓口の周知 ・ポピーホームページ・チラシ・「医療と介護の連携ブック」配布 ・研修会や住民講座等による窓口の周知 ・在宅療養展示カフェでの周知 ③ 自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加
（５）地域住民への普及啓発 将来にわたって望む暮らしができるよう、在宅医療・介護、看取りを含む人生会議（ACP）、在宅療養等について、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、おれんじサポートチーム等と連携し、「在宅療養リーフレット」や「普及啓発動画」「やまがた人生備えの書」、及び気軽に話し合いができるツール等の普及啓発ツールを活用したフォーラムや住民講座の開催などにより、地域住民の理解の促進を図る。	① 普及啓発ツールの広報・周知・活用 ・「在宅療養リーフレット」や「人生会議・在宅療養普及啓発動画」「いっぽぐカード」等の普及啓発ツールを活用し相談対応や住民講座の開催、周知を行う ② 関係者への教育支援や後方支援 ・地域の支援者がACPや在宅療養を理解し、普及啓発や住民支援が行えるよう、必要に応じて情報提供・相談・研修会などを行う ③ 住民講座への協力や講座開催の後方支援 ・地域からの依頼に応じ、在宅療養や人生会議などの普及啓発を目的とした講座への協力や後方支援を行う（R5年度実績 講座15件・サロン3件） ④ 地域への情報発信 ・ホームページに人生会議コンテンツの作成を検討 ・11月下旬、市役所玄關脇で人生会議と在宅療養に関する展示相談会の実施 ⑤ 人生会議普及啓発ツール「いっぽぐカード」を地域住民に活用いただくための検討 ・住民の活用ニーズに対応するための対応 ・地域での活動支援、他 ⑥在宅医療・介護推進フォーラムの開催 6月22日（土）午後 山形ビッグウイング2階大会議室 上野千鶴子氏 「おひとりさまでも最期まで自分の家で」準備・広報 第2部企画準備・運営等	① 普及啓発ツールの広報・周知・活用 「在宅療養リーフレット」「普及啓発動画」チラシ配布・説明 介護予防手帳見直し作業（エンディングノート・人生会議・在宅療養）人生会議・在宅療養普及啓発動画の補足説明文を生活支援コーディネーターに提供 ② 関係者への教育支援や後方支援 ・包括ふれあい人生会議普及啓発のためのツール開発について助言 ・蔵王包括健康講座南山形コミセン福祉道場への支援（いっぽぐカードファシリテーター） ・山形西部包括南山形福祉道場への支援（いっぽぐカードファシリテーター） ③ 住民講座への協力や講座開催の後方支援 【実施】5月9日 ジョイン講座冒頭で人生会議について説明 19名 6月1日 郵便局局長会夫人会研修会「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え」 120名 7月10日 「カードゲームで気軽に人生会議」 ジョイン 6名 7月11日 介護予防講座 「いっぽぐカードを用いた人生会議の講話」 敬寿会包括 28名 7月18日 「自分らしく生きるための準備と心構え」 榊山地区健康と福祉の集い 71名 7月23日 「人生会議～自分らしく生きるための準備と心構え～」東沢地区福祉協力員研修会31名 7月25日 「いっぽぐカードで気軽に人生会議」 表宿サロン 16名 8月22日 「いっぽぐカードで気軽に人生会議」 あゆみ会集会場 16名 8月25日 「いっぽぐカードで気軽に人生会議」 にこにこサロン 20名 8月30日 「いっぽぐカードで気軽に人生会議」 文教大認知症カフェ40名 9月12日 「人生会議って何？」ポピーの具体的役割 錦川千歳地区民生委員児童委員協議会交流会45名 10月6日 「自分らしく生きるための準備と心構え」 高瀬地区福祉協力員研修会 19名 10月16日 「自分らしく生きるための準備と心構え」 金井包括健康講座・福祉協力員研修会 59名 11月1日 「在宅療養の話」 八日町暮らしの保健室さら 19名 11月24日 「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え～」千歳地区福祉協力員研修会 35名 12月4日 「カードゲームで気軽に人生会議」 ジョイン 3名 12月6日 「人生会議について」 山寺地区福祉協力員研修会 9名 2月12日 【いっぽぐカード体験と人生会議について】B型通所 絆会 12名 2月14日 「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え～」大郷地区福祉協力員研修会 17名 2月18日 「人生会議について」 滝山地区福祉協力員研修会 90名 2月22日 「人生会議について～いっぽぐカードを使って対話を体験してみよう～」第9地区福祉協力員研修会15名 合計 21件 延べ714名 ④ 地域への情報発信 ・7月4日 介護保険事業所連絡会代表者会にて展示企画の協力を呼びかけ ⑤ 人生会議普及啓発ツール「いっぽぐカード」を地域住民に活用いただくための検討（地域ケア調整会議での協議事項） ・カード作成 カード作成にかかわる費用について見積もり ・貸し出し 7月29日～ 山形市社会福祉協議会へいっぽぐカード13セット貸し出し依頼・説明・設置 ・意見収集・集約 貸し出し先へのアンケート用紙作成、デイサービスへの貸し出し（モニター） ・カード改定作業 10月24日内容見直し作業（山形西部地域包括支援センター） 1月8日住民からの意見聴取（西山形コミセン） ⑥在宅医療・介護推進フォーラムの開催 ・6月22日（土）午後 山形ビッグウイング2階大会議室 上野千鶴子氏 「おひとりさまでも最期まで自分の家で」 385名参加 ・7月29日～25日 オンデマンド配信 471回再生 ・R8年度在宅医療・介護推進フォーラム開催へ向けた検討（講師・開催方法・会場など）

（６）在宅医療・介護サービス等の情報共有の支援 多職種連携ネットワークシステム「ポピーねっとやまがた」や「山形市入退院支援フロー（地域版）」、「村山地域入退院支援の手引き」の活用効果や好事例の紹介などにより、これらのツールの普及を進め、医療・介護に携わる多職種間の連携と情報共有を促進する。	① 多職種連携SNS「ポピーねっとやまがた」 ・活用状況やMCSシステム状況の把握 ・運用ルールの普及（情報の管理やマナーなど） ・事務手続きや操作などの相談支援 ・患者タイムライン構築への協力支援 ・普及啓発のための情報発信・研修など ② 「山形市入退院支援フロー（地域版）」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・山形市入退院支援フローの点検・見直し ・改定版の周知（改定完了時） 仕様書（３）再掲	① 多職種連携SNS「ポピーねっとやまがた」 ・診療報酬改定で情報連携に関する加算→MCS ※ベにはなネットの連携拡大について村山保健所に意見提出 ② 「山形市入退院支援フロー（地域版）」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・村山保健所書面会議にて合同会議の必要性や手引きの点検作業についての意見提出 ・村山保健所医療介護連携拠点意見交換会に課題提出、点検と見直しの必要性について意見 ・診療報酬・介護報酬同時改定に伴うフローテキストの修正作業 ・第3回医療連携室連絡会 居宅・包括合同研修会にて入退院の手引き及びフロー図についてご案内
（７）在宅医療・介護関係者の研修など 地域の医療・介護関係者に対する研修や出張勉強会などの開催及び支援を行い、認知症など中重度の要介護状態や医療依存度が高い高齢者への看取りを含む支援、本人の意思を尊重した支援、在宅医療・介護連携における対応力を高め、多職種によるチーム支援の推進を図る。	① 研修会の実施 ・おれんじチームと共催で研修会の実施 ※その他、事業所連絡会へのヒアリングを行い、各専門職の連携の課題解決のための研修を企画・実施（R5年度実績5回） ② 研修会などの開催手段や方法の検討・対応 ・コロナをめぐる感染状況や社会状況に応じた実施方法の検討 ③ 介護系事業所向けの研修 ・出張勉強会の計画・実施（R5年度実績Web1回、オンデマンド1回、動画5本） （看護介護事業所の人材定着・ACPと意思決定支援・口腔衛生・感染対策と手指衛生 ・栄養、などを講師派遣も含めて検討中） ④ 医療と介護の連携交流会の開催に向けた検討	① 研修会の実施 【実施】 7月18日 おれんじチームと合同「認知症情動療法研修会」 41名 8月16日 ふらっとカフェ in summer 4名 11月22日 済生館と合同「医療福祉研修会」 病院41名 地域19名 計60名 ② 研修会などの開催手段や方法の検討・対応 ③ 介護系事業所向けの研修 医師会事業に伴う高齢者施設でのVE検査に関するスタッフ研修会と支援について検討 ④ 医療と介護の連携交流会の開催 9月 4日 医療と介護の連携推進のための交流会 109名 ⑤その他（講師など） 2月6日 包括かがやき居宅研修会「医療連携室との連携」28名 2月18日 たきやま包括小規模多機能連絡会「いっぶぐカードを使った対話体験」9名
（８）その他必用な事業 その他、各種会議等への参加による課題把握や情報提供など、本業務の目的達成のために必要な業務を行う。	① 拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催 ・ポピーの事業と運営委員の状況に応じ、5月、7月、11月、3月予定 ・うち1回を「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」をテーマに拡大運営会議実施 ② ポピーホームページの充実 ③ 各種会議への参加（随時） ・「医療と介護の連携」に関する意見・情報発信を行う ④ 地域の医療や介護の課題に関する事業への協力 ⑤ スタッフのスキルアップ ・相談対応力向上や在宅医療最新情報、動向を得ることを目的とし研修会参加 - インテグレーター養成講座、エンドオブライフケア学会等	① 拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催 6月12日（水）フォーラムについて 8月19日（火）連携交流会について 3月24日（月）今年度の事業実績と次年度の事業計画について ※「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」は効果的な開催に向け次年度再検討 ② ポピーホームページの充実（１）②参照 ③ 各種会議・打ち合わせへの参加（随時） ・地域ケア調整会議・センター長会議傍聴・緩和ケア研究会役員会 ・権利擁護部会 ・南沼原6者会議、ふれあいネットワーク会議、かがやき事業報告（書面・意見提出） - たきやま包括連絡会(3回)、ちーむわん・つー！情報交換カフェ(4回)、 - 包括ふれあい医療関係者連絡会 ・市と基幹型との定例会（毎月）・おれんじチーム情報交換（毎月）、住民懇談会（3地区・9地区） ・薬剤師との連携ワーキング ・医療連携室連絡会幹事会 ・村山地域連携拠点連絡会（3回） ・名取・栗原・沼田利根連携拠点との情報交換会（ZOOM） ④ 地域の医療や介護の課題に関する事業への協力 ・9月24日山形市認知症セミナー運営協力 ・看取り当番（市医師会在宅医療連携推進の会） ・高齢者施設摂食・嚥下推進事業（市医師会事業）アンケート集計、患者情報・同意書ひな形作成等 ⑤ スタッフのスキルアップ ・9月14日 「アドバンスケアプランニングと共同意志決定を学ぶ～現場に活かす」（大場） ・9月15日 「イザという時、どう過ごしますか？あなたらしい最終章の迎え方」（大場） ・9月16日 「こんなはずじゃなかった介護保険私たちのケア社会をつくる」（大場） ・10月5日 山形厚生病院記念祝賀講演会「認知症患者のオーラルフレイル」（鹿野） ・11月15日 在宅医療・介護連携推進事業研修会議Ⅱ（大場） ・11月15日 山形さくら町病院地域連携シンポジウム（鹿野） ・12月2日 在宅医療・介護連携推進事業研修会議Ⅲ（鹿野） ・2月6日 認知症セミナー（鹿野）

★医療・介護連携4つの局面 …………… 1. 入退院支援 2. 急変時の対応 3. 日常の療養支援 4. 在宅看取り